

功に繋げることができました。

最後に、1年間の最大の発信事業であるメイン事業において、多くの予算を使用し事業構築を行えるのも、OBの皆様・協賛会員の皆様のご協力によるものと改めて実感いたしました。このような恵まれた環境のなか、これだけの大きな事業を行えるということは当たり前ではないということを念頭に置き、これからも活動を続けてまいります。本当にありがとうございました。

室長 飯島 将史

Information

◆7月例会

日時：2024年7月4日（木）

登録・受付：18：00

開会：18：30

閉会：21：00

会場：ウェスタ川越 2階 市民活動・生涯活動施設 活動室1・2

来る7月4日（木）、「新たな付加価値の生み出し方～付加価値創造戦略～」と題しまして、ウェスタ川越 2階 市民活動・生涯活動施設 活動室1・2にて、経営開発委員会担当のもと7月例会を開催させていただきます。

本例会では、一般の方にもご参加いただき、多方面な観点から意見を出し合い取り入れることで生まれる新しい発想や、挑戦しやすい環境から生まれる様々な意見が、新たな商品やサービスを生み出すきっかけになることを学んでいただきます。そうすることで、現在の企業の魅力をより高めることに繋がり、結果として人びとから信頼される企業へ成長すると考えます。

講師には、創業者として「ほっかほっか亭」や「フレッシュネスバーガー」のフランチャイズ事業を手掛け、現在はフライドグリーンマト株式会社 代表取締役を務める栗原幹雄氏をお招きした講演会を実施いたします。講演では、ご自身の経験を踏まえながら、多様な人財における様々な意見の重要性を参加者に認識していただくと共に、それら意見を取り入れることの大切さについてお話をしていただきます。また委員会としては、多様な人財の意見をどのよう吸い出していか、ということ念頭にブレインストーミングの手法を用いながら意見を出していただき、多様な意見が新たな価値を生み出すきっかけになるということを学んでいただきます。

最後に、ご参加いただく一般の方、そしてメンバーの皆様にも多くの学びをお持ち帰りいただけますよう、経営開発委員会メンバー同準備に邁進してまいります。ぜひ、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

経営開発委員長 関口 智彦

Report

次年度理事長・監事選考委員会 委員選挙開票結果

日時:2024年6月4日（火）

開会:17:30

閉会:18:54

会場:川越商工会議所 2階中会議室

来る6月4日（火）、次年度理事長・監事選考委員会委員選挙の開

票を川越商工会議所2階中会議室において、理事長・専務理事・2監事立ち合いのもと執り行いました。

開票の結果、選考委員は下記の通り決定しましたので、ご報告申し上げます。

1. 松本 隆
 2. 中島 啓亨
 3. 山本 翔吾
 4. 海沼 秀幸
 5. 重成 大毅
 6. 町田 佳太
 7. 高橋 拓也
 8. 山田 圭輔
 9. 飯島 将史
 10. 渋谷 巧
- 次次 上田 俊也
次次次 山根 史子

以上となります。

理事会報告

第6回理事会

日時：2024年6月5日（水）19時00分～21時01分

会場：川越商工会議所 2階 会議室

議案

第1号議案 関東地区協議会出向者編成追加（案）に関する件

第2号議案 7月例会（案）に関する件

全議案とも、原案通り可決承認されました。

出席理事 16名中13名

新入会者紹介

阿部 竜也(あべ たつや)

■事業所：有限会社 アベサービス

■事業内容：運送業

■事業所住所：川越市中台元町1-1-3

■役職：常務取締役



（有）アベサービスの阿部と申します。今年で39歳になる年です。短い間ではございますがみなさんと一緒にJC活動をしていけることを楽しみにしております。右も左も分かりませんが頑張ってまいります。よろしくお願い致します。

公益社団法人川越青年会議所 広報 the Voice of JC 2024 年 6 月号
発行：公益社団法人川越青年会議所 2024年度理事長 相原 広明
〒350-8510 埼玉県川越市仲町1-12
tel：049-229-1810 e-mail：info@kawagoe-jc.or.jp https://kawagoe-jc.or.jp/
編集：総務委員会 印刷：株式会社 櫻井印刷所



Report

◆5月例会（メイン事業）

日時：2024年5月11日（土）

開会：10：00

閉会：18：00

会場：川越市グリーンツーリズム拠点施設

来る5月11日（土）に、5月例会メイン事業を社会開発委員会・青少年育成委員会のもと川越市グリーンツーリズム拠点施設で開催させていただきました。今回の5月例会メイン事業では、このまちに愛着を持っているひとが多いにも拘わらず、ライフスタイルや外部環境の変化によってひととの繋がりやまち、自然への関わりが希薄化している。このまちが今後一層発展していくためには、自然を通して仲間と認め合う心を培い、人びとが共に生き、まちの将来を考え行動していく必要があるという背景のもと、自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集めることを目的としました。

社会開発委員会では、伊佐沼の古代蓮が消滅してしまったというまちの課題に着目し、伊佐沼の蓮を咲かそう会様と手を取り合い、事業を展開いたしました。巨大蓮アートの制作や事前企画参加者に作成していただいた蓮の造花の展示、外来種捕獲実演や事前事業に参加いただいた方々に育てていただいた蓮の苗を伊佐沼へ植え替えることで、伊佐沼という豊かな自然があるからこそ可能な経験をし、自然課題にも向き合ってくださいました。また、川越市役所子ども未来部子ども政策課とも手を取り合い協働でアンケートを作成し、まちへの想いを集めることができました。

本年度は約2,400人もの来場者にお越しいただき、結果として仲間と認め合う心を培い、まちの将来を考えることに繋げることができ、やがては真心溢れる川越が創造されていくと確信しております。また、5月例会メイン事業は委員会の垣根を超えて一つの大き

な事業を創り上げる例会でもありました。初めてメイン事業に携わったメンバーからも参加してよかった、JCに入会してよかったという声をたくさん聞くことができ、LOMが一丸となり運動展開することができ、各々が達成感を感じることもできました。しかしながら、設営面においては反省するべき点も多く、メンバーへご負担やご迷惑をお掛けしてしまいました。また、例会でありながら全てのメンバーに出席いただくことが叶わず我々の想いを全メンバーにしっかりと伝えきれなかったと自覚しております。反省すべき点はしっかりと反省し、今後の委員会運営や例会、事業へ活かしてまいります。最後に多くの皆様にも今回の5月例会メイン事業に参加していただいたことを心より感謝申し上げます。この度は誠にありがとうございました。

社会開発委員長 影山 大樹

来る5月11日（土）に、5月例会メイン事業を社会開発委員会・青少年育成委員会のもとこのまちに愛着を持っている人が多いにも拘わらず、ライフスタイルや外部環境の変化によってひととの繋がりやまち、自然への関わりが希薄化しているという背景のもと、自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集めることを目的として川越市グリーンツーリズム拠点施設にて開催いたしました。

青少年育成委員会では外部環境の変化によって仲間と密接に関わり合う機会が減少してしまった小学4～6年生を対象に、仲間を認め合う心を培っていただく事業として展開いたしました。事前から仲間と役割分担をしながら大空に上げるというひとつの目標に向かって中凧を製作し、メイン事業当日は仲間と協力して大空に打ち上げることが出来ました。また当日は事前で製作した中凧よりもさらに大きな凧を当日参

加者と力を合わせて製作し、クライマックスに掲げることによって仲間と認め合う心を培うことができたことを確信しております。

また、5月例会メイン事業では委員会の垣根を越えて全メンバーでひとつの大きな事業を作り上げる例会でございました。メイン事業を初めて経験するメンバーも多い中、LOMが一丸となり当日をやり遂げたことによってJC活動の良さを感じていただく機会にもなったと考えております。しかしながら事業の作り込み段階や設営面においては反省すべき点も多くございました。役割分担をしながらより多くのメンバーを巻き込み実施できるよう、今後の事業に活かしてまいります。最後に多くの皆様に5月例会メイン事業にご参加いただいたことに深く感謝を申し上げますと共に報告とさせていただきます。誠にありがとうございました。

出席率 75.30%
青少年育成委員長 荒谷 俊紀



メイン事業のフィナーレの大風あげ

Report

◆企画推進・第1事業室

室名：あらやだ、いきたくなる推進室

室長：高橋 拓也

副室長：影山 大樹・荒谷 俊紀

メンバー：社会開発委員会・青少年育成委員会

あらやだ、いきたくなる推進室では、「事前から構築した企画を当日実施し、自然を通してひとやまを結ぶ企画、各室を結ぶ企画」という目的のもと事前から当日まで自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集める事業企画を構築いたしました。

まず、事前事業として「伊佐沼の古代蓮復活大作戦！」「仲間と共にタコを作ろう！」を行わせていただきました。両事前事業共に参加していただいた市民の皆様に、自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集めることへ事前から当日に向け繋げることが出来たと確信しております。また、当日企画では「伊佐沼の古代蓮復活大作戦！第2章」「スタンプラリー企画」「仲間と共にタコを上げよう」「開会式典」を行わせていただき、このまちの機運を大きく盛り上げる事が出来ました。

事前事業と当日企画に参加していただいた市民の皆様には、青年会議所の活動と今年度の運動の方向性をしっかりと感じていただき、メイン事業の目的である自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集める事が出来たと確信しております。さらに室メンバーはメイン事業を行った事で、今後の川越青年会議所を担っていく真心溢れる人財に大きく成長が出来ましたと感じております。

最後に、この事業に関わっていただいた全ての方に感謝を申し

上げ、相原理事長の掲げる「真心」のキーワードのもと、室メンバー一同さらに活動を加速させてまいります。ありがとうございました。

室長 高橋 拓也



蓮の貼り絵をしている参加者

Report

◆第2事業室

室名：マチルダ室

室長：町田 佳太

副室長：岡安 秀樹・関口 智彦

メンバー：会員開発育成委員会・経営開発委員会

マチルダ室では、「感じる」をテーマに「バブルビート！伊佐沼で踊ろう」・「おいしい川越再発見！」・「SANSUKE」の3企画を実施しました。

「バブルビート！伊佐沼で踊ろう」では、関口副室長・下萩リーダーを中心にまちにゆかりのある協働相手13団体と手を取り合い、泡と音楽で野外ならではのステージ演出を行い、まちの人びとの魅力や野外でのまちの自然を感じていただくと共に、まちの将来について考えるきっかけへと繋げることができました。

「おいしい川越再発見！」では、岡安副室長・原リーダーを中心に市内の飲食店舗8店舗の出店及び自然を活かした収穫体験を実施しました。当日は、店舗で1,516個販売、収穫体験では248名参加と多くの方にご参加いただき、食べるだけでなく、自然に触れる体験をしていただくことで、まちの魅力を五感で感じていただきまちの将来について考えるきっかけへと繋げることができました。

「SANSUKE」では、青池リーダーを中心に伊佐沼の地でアスレチック体験企画をいたしました。当日は、200名の方に参加するほどの企画で、終日列ができるほどの大盛況でした。また、体験した参加者には、まちなかでは味わえない自然での解放感の中でアスレチックの体験をし、自然の魅力を感じていただきまちの将来について考えるきっかけへと繋げることができました。

結びに、メイン事業を実施するにあたり、ご高配賜りました諸先輩をはじめとする関係各所の皆様と最後まで一致団結してくれた室メンバーに心から感謝申し上げます、室長報告とさせていただきます。

室長 町田 佳太



バブル演出を楽しむ参加者



SANSUKE企画を楽しむ参加者

Report

◆運輸発信室

室名：上田発射室

室長：上田 俊也

副室長：海沼 秀幸・境 有加

メンバー：総務委員会・各室からの出向者6名

本室では「伝える」をキーワードに、全体周知活動に臨んだ「PR企画」をはじめ、当日人びとを集め、ひとやまの魅力を伝える企画として「運輸計画」ならびに「500人みんなでありがとうを伝えよう！」を実施いたしました。

「運輸計画」では、海沼副室長・田川リーダーが中心となり、川越市役所と会場をバスで結び、伊佐沼の現状や我々が活動してきた軌跡を動画を用いて乗車していただいた248名の方へ示すことができました。

そして、「500人みんなでありがとうを伝えよう！」企画では、境副室長・澤野リーダーが中心となり、翌日の母の日にかけてカーネーションの制作や来場の記念となるようなフォトスポットの設置をはじめ、フォトフレームのワークショップ、また、緑豊かな伊佐沼の地を彩る将来を見据えた球体モニュメントを造花で埋め尽くしていただくなど212名の幅広い層の方々に参加いただくことができました。モニュメントについては、会場に展示いただけるなど事業後のPRにも繋げることができました。

最後に「PR企画」では、境副室長・吉越リーダーが中心となり、メイン事業開催そのものをはじめ、各室企画をアナログ・デジタル両面を活用しながら周知に臨み当日の動員に繋がりました。チラシデザインを委託するという方法をとったことで、メイン事業におけるターゲット層へ効果的に幅広く周知し、動員へ繋げることができました。また街頭配布をしたことで、メンバー間の気持ちを強めることに繋がり、一丸となって当日を迎えることができました。

結びに、メイン事業実施にあたり、ご高配を賜りました諸先輩をはじめとする関係各位の皆様と最後まで一致団結してくれた室メンバーに心から御礼を申し上げ、室長報告とさせていただきます。

室長 上田 俊也



多くの参加者で作成したモニュメント



メイン事業のメンバー全体写真

Report

◆運営会計室

室名：山田電器室

室長：飯島 将史

会計局長：山田 圭輔

副室長：岩田 光治・今村 雄一

メンバー：各室からの出向者4名

山田電器室では、「自然を通して仲間と認め合う心を培い、まちへの想いを集めること」を目的として開催されましたメイン事業において、「支える」という担いのもと、事業全体が滞りなく円滑に進むよう、備品の取りまとめから、誘導員計画、看護計画、清掃計画、搬入・搬出計画を担当し裏方として事業全体を支えてまいりました。準備の段階から当日をイメージし誘導員計画や看護計画、清掃計画を練り、当日来場者の方に安心かつ楽しんで参加していただけるよう努めました。

特に、搬入・搬出計画においては各室の備品を取りまとめ、前日からの搬入・搬出を計画し、段取りを組むことで、十分な備品の準備を行うことができすべての備品を紛失することなく借り先へ返却することができました。また、今年度も運営面での下支えに加えて、各事業室の予算編成を取りまとめ、諸先輩方の皆様・協賛会員の皆様からお預かりしている大切な予算を効果的な運動へと繋げるために、適切な予算の運用が行われているか詳細を細かく見極める予算執行と、決算処理を担当しました。各室企画には、LOM全体で行う最大の発信事業でもあるメイン事業において多くの予算を使用できることの意味や意義といった部分を理解していただき、各室が企画を組み立てていく段階から当日を具体的にイメージしながら予算構築を行ったことで、各企画がより洗練されたものになり事業の成